令和４年ホヤ類調査結果速報　Ｎｏ．５

令和４年 12 月７日

北海道立総合研究機構函館水産試験場

※この速報は函館水試ＨＰでも見ることができます。

【アドレス：http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/hakodate/】

11 月 28 日に渡島管内八雲地区において、耳吊ホタテガイ付着物の調査を行いました。

結果概要

・耳吊りホタテガイ上のヨーロッパザラボヤの付着個体数は、ホタテガイ１枚あたり 25.1 個体で、過去 10 ヶ年の平均と同程度でした。

・平均付着重量は 164.8g と過去 10 ヶ年平均の 1.4 倍であり、既にホタテガイ１枚の平均重量（80.8g）を上回っています。

・平均サイズが 42.4mm と 10 月調査時から 19mm 成長しており、平年の 33mm よりも 10mm 大きい状況です。

・今年は全体的に付着が多く、成長も速いため、増重も速い状況です。貝洗い等の対応を進めてください。

問い合わせ先：函館水産試験場調査研究部　水上・夏池 TEL：0138-83-2893

※本調査および情報配信は特定非営利活動法人水産業・漁村活性化推進機構から委託された令和４年度ザラボヤ被害防止ネットワーク構築委託事業で実施しています。

耳吊りホタテ貝付着物調査

［調査月日：11 月 28 日、調査場所：八雲沖、採取数：上中下層　各５枚］

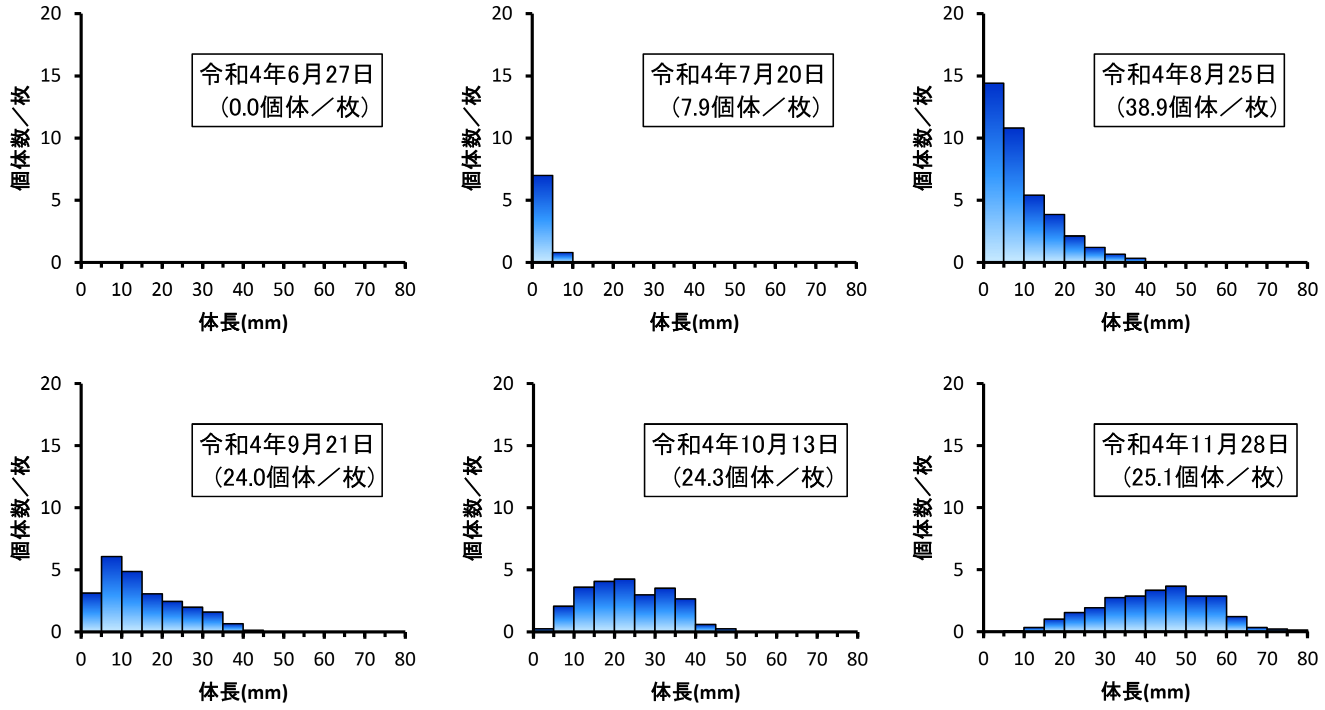
ホタテガイを上層、中層、下層から５枚ずつ抽出し、付着物を調査しました。ヨーロッパザラボヤの平均付着個体数は、ホタテガイ１枚あたり 25.1 個体（過去 10 ヶ年の平均 27.0 個体）、平均付着重量は同 164.8g（同 113.8g）でした。付着数は前回調査（24.3 個体）からほぼ横ばいでした。また、平均サイズは 42.4mm（過去 10 ヶ年の平均 33.0mm）と平年より約 10mm 大きかったです（表 1、図１）。

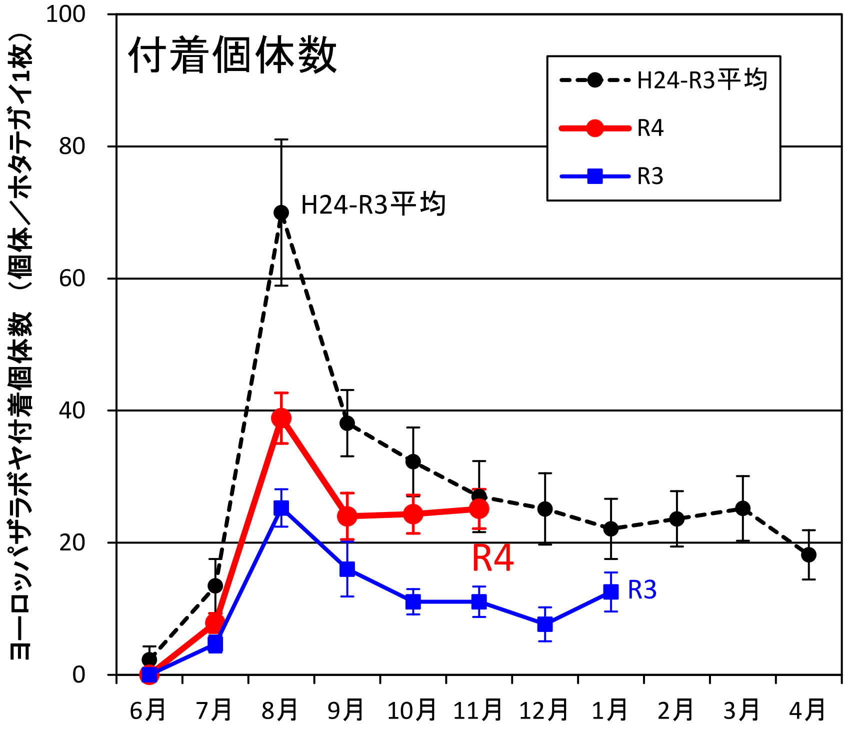
今年の付着数は平年並みですが、付着重量は平成 29 年以降で最も重く、ホタテガイの平均重量（80.8g）を上回っています。出荷時期（12～4 月）にホタテガイ１枚あたりヨーロッパザラボヤが 10 個体残っているだけでも、ホタテガイの重量を上回り、成長にも悪影響となりますので、状況に応じて、貝洗い等の対応を進めてください。

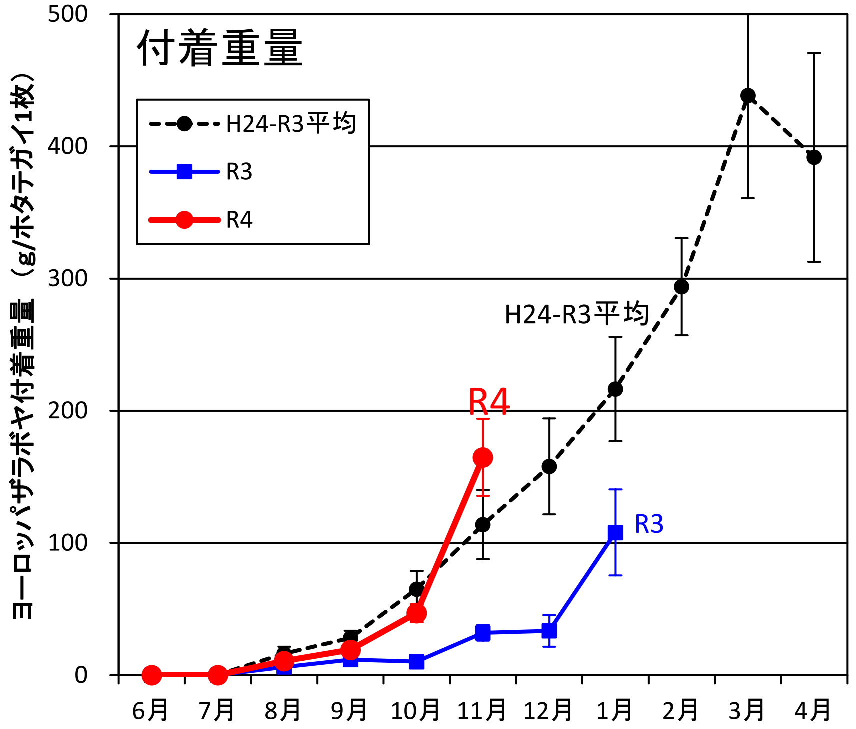
表１　付着生物調査結果（八雲地区：令和４年 11 月 28 日）

ホタテガイ1枚あたり平均付着数量	上層	中層	下層	平均
全付着物重量	184.6g	343.2g	138.3g	222.1g
ヨーロッパザラボヤ	101.1g	284.7g	108.4g	164.8g
その他	83.5g	58.5g	29.9g	57.3g
ヨーロッパザラボヤ個体数	14.6個体	34.6個体	26.2個体	25.1個体
令和3年11月（R3.11.17）の個体数	5.0個体	7.0個体	21.2個体	11.1個体
令和2年11月（R1.11.17）の個体数	7.8個体	13.4個体	7.8個体	9.7個体
令和元年年11月（R1.11.11）の個体数	45.8個体	37.0個体	33.2個体	38.7個体

図１ヨーロッパザラボヤのサイズ組成（八雲地区：令和４年 6～11 月）







上：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着個体数の季節変化
下：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着重量の季節変化
各月のデータは全層（上層、中層、下層）の平均値で示しています（縦棒は標準誤差）。過去 10 ヶ年（H24～R3 年）のデータでは、ヨーロッパザラボヤのホタテガイへの付着個体数は 7～8 月に大きく増加し、8～9 月に大きく減少した後、10 月以降は緩やかに減少します。付着重量は 10 月以降、急激に増加します。